インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第６回実証試験の開催概要

○インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、地方自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する**実証試験**を実施しました。
○第６回実証試験では、玉野市から提供されたニーズ「水路改良、水路の目地補修」に対して、民間企業（マックストン(株)、(株)丸治コンクリート工業所）が製品の紹介を行った後に、現地において試験施工を行いました。
○実証試験を受け、玉野市において、本技術を使用した工事発注が令和６年度に予定されることとなりました。

■日　時：令和５年１１月２日（木）14:00～16:00　■場　所：岡山県玉野市田井４丁目地先
■参加者：16名【施設管理者 玉野市農林水産課：3名/ 民間企業（マックストン㈱、㈱丸治コンクリート工業所ほか）：7名／６社
インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員：4名/　中国地方整備局：2名】

○開会挨拶

インフラメンテナンス国民会議
フォーラムリーダー　藤井 堅
（広島大学名誉教授）

○ニーズ提供者挨拶

玉野市産業振興部
農林水産課
主幹　西垣　恒彦

○閉会挨拶

中国地方整備局　企画部
事業調整官　桑嶋 弘志

○製品の説明、現地での試験施工

マックストン(株)
技術名「水路嵩上げパネル工法」

製品の説明

現地での試験施工

(株)丸治コンクリート工業所
技術名「迅速トマール」

製品の説明

現地での試験施工

止水状況の確認

施設管理者が抱える
維持管理の課題収集

↓

ピッチイベント
（課題を解決する技術の提案会）
第５回：R5.1.12

↓

実用化を検証する
実証試験
第６回：R5.11.2

↓

マッチング
（社会実装）

▲質疑応答の様子